

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表：令和3年3月30日

事業所名 **彩の国学舎 くき学園 久喜北校**

回答数

22

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	72.7%	22.7%	0.0%	0.0%		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%	・専門的な方がいらっ しゃるのが周知され ていない。 ・職員によって知識 の差が大分あるよう に感じます。	・北校のみでは、元 支援学級担任、元教 諭等が勤務しており ます。 ・くき学園全体にお いては臨床心理士 他専門の者が勤務 しておりますので、 教室を通してお尋ね
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	36.4%	45.5%	9.1%	0.0%		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	81.8%	9.1%	0.0%	0.0%		
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	36.4%	59.1%	0.0%	0.0%		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	86.4%	9.1%	0.0%	0.0%		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	72.7%	18.2%	0.0%	0.0%	・迎えに行っても、 その日の状況等お 話しいただく事は少 なく、少々不安であ る。親としたらひと 言でも何かあると、 ありがたいです。ま た、挨拶はコミュニ ケーションの中でと ても大切なことだ と思っています。支 援が必要な子たち にとっては余計に 必要なスキルだ と思うので、まず は職員の方々から 気持ちの良い 挨拶をすることが、 子ども達へ身 につけさせる一 番の近道ではない かと思いますので	・貴重なご意見あり がありがとうございます。 学園での生活で、些 細なことにおいても お話を伝えるよう 心がけます。また、 挨拶におきまして は、互指摘いただき ますとおり、コミュニ ケーションにおいて とても大切であり、 基本です。「挨拶は 心の握手」という標 語もございましたが、 気持ちの良い挨拶 から、保護者の皆さ まや地域の方々 と豊かなコミュニ ケーションでつな がっていたいと思 います。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	81.8%	13.6%	0.0%	0.0%		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	86.4%	9.1%	0.0%	0.0%		

	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援され	72.7%	22.7%	0.0%	0.0%		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	86.4%	9.1%	0.0%	0.0%		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	86.4%	9.1%	0.0%	0.0%		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	77.3%	18.2%	0.0%	0.0%		
	14	個人情報に十分注意しているか	77.3%	18.2%	0.0%	0.0%		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	72.7%	22.7%	0.0%	0.0%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	59.1%	27.3%	9.1%	0.0%		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	59.1%	36.4%	0.0%	0.0%	・お友達と運動できることが楽しいようです。	・運動療育を取り入れ、良い効果として今後の活動にもつなげていこうと思いま
	18	事業所の支援に満足しているか	86.4%	9.1%	0.0%	0.0%	・様々な体験をさせていただき感謝しております。くき学園の理念等とても素晴らしく信頼しております。 ・少しずつ子供が成長してできなかったことができるようになって喜びを感じています。	・くき学園の理念や活動にご理解いただき誠にありがとうございます。すべては、子どもの明るい未来のために全知全霊取り組んでまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関する

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長